



2019年11月8日

各位

日本マクドナルドホールディングス株式会社
代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO） サラ L. カサノバ
（コード番号：2702 JASDAQ）
問い合わせ先 執行役員 IR統括責任者 中澤 啓二
TEL 03-6911-6000

2019年12月期 第3四半期連結決算状況のお知らせ

日本マクドナルドホールディングス株式会社の2019年12月期（2019年1月1日～2019年12月31日）の第3四半期累計期間（2019年1月1日～2019年9月30日）の連結業績につきまして、下記の通りご報告致します。

ハイライト

- 全店売上高は第3四半期累計としては上場以来最高を達成
- 売上高は対前年同期比で増加。既存店売上高は16四半期連続でプラスを継続
- 売上利益ともに、ほぼ年初の想定通りに進捗
- お客様の店舗体験向上を目指してQSCの強化や未来型店舗体験の展開等を推進

（単位：百万円）

	2019年第3四半期累計期間			
	実績	前年実績	対前年同期比	対前年同期比
全店売上高*	409,294	389,082	+20,211	+5.2%
連結売上高	209,735	202,707	+7,028	+3.5%
連結営業利益	21,531	21,776	-244	-1.1%
連結経常利益	21,242	22,498	-1,256	-5.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,305	20,548	-7,242	-35.2%

*全店売上高：直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高

	2019年第3四半期累計期間 前年同期比(%)	
	既存店売上高	+5.0%
既存店客数	+2.6%	
既存店客単価	+2.3%	

2019年第3四半期累計期間は全店売上高が前年同期比202億円、5.2%増加の4,092億円となり、第3四半期累計としては上場以来最高となりました。既存店売上高は16四半期連続でプラスを継続し、売上高は前年同期比70億円、3.5%増加の2,097億円となりました。

営業利益、経常利益は前年同期比で微減、親会社株主に帰属する連結四半期純利益は税率の影響等により前年同期比で35.2%の減益となりましたが、ほぼ想定通りに進捗しております。

今後も、お客様の利便性、快適性向上の為に、更にメニュー、バリュー、Quality, Service and Cleanliness (QSC)、未来型店舗体験等を強化し、ビジネスの継続的な成長と収益性の向上を実現し、通期業績見通しと中期経営目標の達成を目指してまいります。

以上

※この資料は兜俱樂部、東京商工会議所記者クラブ、外食産業記者会に配布しております。